

しょうひんりょうもくたちいりけんさ 商品量目立入検査

わたし ふだんてんとう う にく さかな ひょうじ しん まいにち か もの
私たちは、普段店頭で売られている肉や魚のグラム表示を信じて毎日の買い物をしています。

ひょうじ ただ ひょうじ かくにん とくていけいりょうきもち じっさい てんとう
そのグラム表示が正しく表示されているかを確認するために、特定計量器を用いて、実際に店頭
なら しょうひん えら けんさ しょうひんりょうもくたちいりけんさ
並んでいる商品を選んで検査することを商品量目立入検査といいます。



しょうひんりょうもくたちいりけんさふうけい
商品量目立入検査風景

しょうひんりょうもくたちいりけんさ 商品量目立入検査

・いつ？

まいとし せいかつかんれんぶっし りゅうつう かっぱつ ぜんき がつ こうき がつ じっし
毎年、生活関連物資の流通が活発となる前期(6～8月)、後期(10～12月)で実施しています。

・どこで？

たからづかしな い はんばいてん
宝塚市内のスーパーマーケットなどの販売店

・なにを？

はか う しょうひん
量り売りされている商品

・どのように？

ひょうじ りょう つ こ
表示とおりの量が詰め込まれているか

とくていしょうひん さだ きょうご さ りょうもくこうさ こ かくにん
特定商品ごとに定められた許容誤差(量目公差)を超えていないかを確認

りょうもくこうさ こ じつりょう すく しょうひん しどう おこな
量目公差を超えて実量が少なかった商品については、指導を行っています。

(ラベル例)



しょうひんりょうもくたちいりけんさ 商品量目立入検査

ないようりょう じつりょう さんしゅつほうほう ・内容量(実量)の算出方法

しょくりょうひん ないようりょう そうりょう ふうたいりょう ひ さんしゅつ
食料品の内容量は総量から風袋量を引くことで算出します。

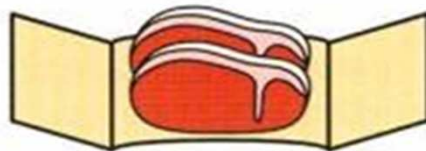


ふうたいりょう など ほうそうざい
※風袋量とはトレイ、ラップ等の「包装材」や

わざび、しょうゆ、かざ つ など そ もの そうしょう
わさび、しょうゆ、飾り付け等の「添え物」の総称です。



● 5～20g位
トレイラップ



● 5～25g位
ロー引き紙



わさび



しょうゆ



つま

しょうひんりょうもくたちいりけんさ 商品量目立入検査

りょうもくこうさひょう 量目公差表

けいりょうほう さだ ごと さ りょうもくこうさ とくていしょうひん さだ
計量法で定められた誤差を量目公差といい、特定商品ごとに定められています。

りょうもくこうさ ふそく ばあい しどう たいしょう
量目公差は不足の場合のみ指導の対象となります。

とくていしょうひん 特定商品	ひょうじりょう 表示量	りょうもくこうさ 量目公差
しょうにく 食肉	5g以上（いじょう） 50g以下（いか）	4%
	50gをこえ 100g以下（いか）	2g
	100gをこえ 500g以下（いか）	2%
	500gをこえ 1kg以下（いか）	10g

れい ひょうじりょう しょうにく
(例)表示量300gの食肉

$300g \times 2\% = 6g$ (←りょうもくこうさ
量目公差)

$300g - 6g = 294g$

よって、ないようりょう
内容量が

みまん ばあいいはん
294g未満の場合違反となる！

しょうひんりょうもくたちいりけんさ 商品量目立入検査

りょうもくこうさぶそく かんが げんいん
量目公差不足が考えられる原因

●^{ふうたい}風袋の^{むし}無視・^{けいし}軽視（^{ふうたい}風袋の^ひ引き忘れ、^{わす}しょうゆ等の^{など}添え物^そ込み^{もの}計量^こ等^{けいりょう}）

●^{かんそう}乾燥等による^し自然^{ぜん}減量^{げんりょう}（^{やさ}野菜類の^い乾燥^{かんそう}に対して^{たい}対策^{たいさく}不足^{ぶそく}）

●^{けいりょうき}計量器の^{つか}使用^{あやま}かたの誤り

（^{すいへい}水平に^{せっち}設置していない、^{かぜ}風や^{しんどう}振動の^{えいきょう}影響^うを受けやすい^{ぼしょ}場所での^{けいりょう}計量^{など}等）

りょうもくこうさぶそく はっせい はっせい ぼあい しどう
量目公差不足が発生しないように、発生している場合はただちに指導し、

しょうひしゃ あんぜん あんしん かくほ つと
消費者の安全・安心の確保に努めています。